

地域の課題を価値に変える

それを実現させていく。

隣
川内市

2010年に京都府よりUターン

山下 賢太さん

「東シナ海の小さな島ブランド株式会社」代表。1985年甑島生まれ。芸術系大学を卒業後に島へ戻り、2012年に会社設立。事業はモノづくり・コトづくり・場所づくりなど多岐にわたり、地域の活性化に向けて取り組んでいます。

甑島にあるもので、魅力を打ち出す

地域の環境や文化を活かして、甑島を魅力的な場所にできるように挑戦を続けています。時代の変化とともに使い古されたものや課題とされていることも、見方を変えれば価値あるものになるはず。そういったところに光を当てたい、と思っています。

手掛ける事業はいろいろあります。豆腐屋にカフェを併設した「山下商店」、中甑港旅客待合所をリノベーションしたカフェ「コシキテラス」、ほかに旅館やレンタサイクル、農業や商品開発・販売、観光コンテンツの提供やイベント企画などを展開しています。

島での活動も10年を越えました。これまでたくさんの方々に支えられて、続けることができています。



16歳で夢破れて、島のことを考えるようになった

じつは、私の夢は騎手になることでした。中学卒業後に競馬学校に入学しましたが、減量苦から挫折。島に戻ってしばらくはキビナゴ漁の手伝いをしていました。挫折を経験したこと、そして働くことを通して島の見え方が変わりました。産業や暮らしのあり方、島の未来について考えるようになりました。そして、「自分がここでできることは何だろう?」と思ったのです。

それから高校に入り、さらに京都の芸術系大学に進学。大学では環境デザインを専攻しました。在学中には、「KOSHIKI ART PROJECT」(甑島で開催するアートイベント)にも参加し、副代表も務めました。

大学卒業後に島に戻り、まずは農業を始めました。米と焼酎用サツマイモの栽培です。その後、2012年に山下商店を開業したのを機に法人化し、現在に至ります。

故郷の未来のために、今できることをしっかりと

僕らの世代が今すべき苦勞にしっかりと向き合いたい。先輩方がしてきたこととは違う苦勞を僕らがして、次の世代ではまた違う苦勞をしてもらう。そういった積み重ねで地域は発展すると思っています。そして、苦勞をするなら、やはり夢があったほうがいいのです。

人口減少の原因というのは、そこに住む理由を見いだせないからなんです。私の会社の活動はすべて「甑島で暮らす理由づくり」につながっています。地域を盛り上げ、みんなが笑顔で暮らせて、甑島が選ばれる場所になるように、これまでと変わらず取り組んでいきます。